

カナダ派遣

学校名 上湧別中学校
学 年 2年
氏 名 中川 紗菜

私は以前から海外に興味を持っていて、それを自分の目で確かめてみたいと思い、カナダに行くことを決めました。

私が一番驚いたことは、学校についてです。授業中にお菓子やジュースを飲んだり、ゲームをしていたりなど、日本とは全然違いととても自由な感じでした。私は、ホストファミリーの友達と一緒にヒルトップハイスクールに通っていたのですが、上靴が無く外靴のまま授業を受けたりしていました。その他にも、長い休み時間に公園に行ったりもしました。その時に少し雨が降っていたのですが、傘をさす人がいなかったことにも驚きました。また、チャイムの音がブザーのようで日本のキンコンカンコンとは違いました。カナダの学校では、日本でやってはいけないことなどを体験できたので、楽しかったです。

週末には、ホストファミリーとジャスパーへ行きました。残念ながら一部は、火事のせいで焼け野原になっていましたが、建物が洋風で日本とは違う景色を楽しむことができました。そして、ジャスパーのレストランでは、プーティンとピロギーを食べました。ホストファミリーに「ピロギーは、餃子のような皮にポテトが入っていて、ベーコンとサワークリームと一緒に食べます」と言われた時、本当にその組み合わせでおいしいのかと疑問に思いましたが、食べてみるとすごくおいしくて、カナダで食べた中で一番印象に残りました。

次に、滝を見ました。私は大きな滝を見たことがなかったので、訪れたときは、迫力があってすごかったです。他にも、湖に訪れました。水が透き通っていたので、目の前にあった少し積もった雪の山がきれいに反射していました。また、そこにはヘラジカもいました。鳴き声が悲鳴のようで想像していたものとは違い驚きました。そして、カナダのおいしい空気を吸うことができよかったです。ジャスパーの景色は一つ一つが感動の連続で、本当にカナダに来てよかったですと心から思いました。

そして、なんといってもカナダに行って一番うれしかったことは、ホストファミリーの皆さんがものすごく優しくしたことです。英語が通じなくても、一生懸命耳を傾けてくれて私が伝えたいことを理解しようと、根気強くコミュニケーションをとってくれました。時差ボケでなかなか生活リズムが整わない私をゆっくり休ませてくれたり、かわいいペットたちと触れ合って癒してくれたり、雄大な自然の中に連れて行ってくれました。忙しいスケジュールの中、私を温かく受け入れてくれたホストファミリーの皆さんには、感謝しかありません。お別れの時は、とても悲し

かったですが、メールの交換ができたので、いつかまた、カナダに会いに行けるように今後も英語の勉強を頑張りたいと思います。

私は、カナダから日本に帰国した時、海外進出を果たしたので、もう恐れるものはないと、これでどこにでも飛んでいける！と思いましたが、学校で跳び箱をしたとき、怖くて跳ぶことができませんでした…。全然気のせいでした…。しかし、ここで終わるような私ではありません。これからは、このカナダ派遣の経験を活かし、何事にも挑戦しようと思う気持ちを忘れず、将来の夢を見つけていきたいです。

今回のカナダ派遣に引率してくれた、因副町長、佐藤課長、本当にお世話になりました。また、英語や太鼓指導の先生方、湧別町職員や教育委員会の関係者の皆さん、未熟な私を送り出してくれた両親に、カナダ派遣という貴重な経験をさせていただいて、本当にありがとうございました。